



◀ 担当医一覧

Medical Oncology

# 腫瘍内科

連絡先

外来 TEL : 0853-20-2124  
病棟 TEL : 0853-20-2618 (先端がん治療センター C8 病棟)  
0853-20-2484 (A4 病棟)  
医局 TEL : 0853-20-2308 FAX : 0853-20-2525  
E-mail : oncology@med.shimane-u.ac.jp

診療科長

田村 研治 教授

専門分野：  
腫瘍内科、がん薬物療法、分子標的薬、がんゲノム医療  
資格：  
日本臨床腫瘍学会がん薬物療法専門医・指導医

様々な種類の固形がん患者さんに対して、がん薬物療法（抗がん剤、分子標的薬剤、内分泌治療、がんゲノム医療など）の専門家（専門医）として治療を行います。

多診療科、多職種によるチーム医療に力を入れています。新規抗悪性腫瘍薬の開発も行います。

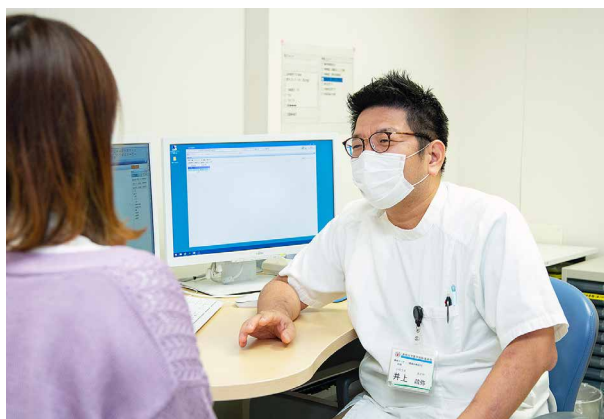
## 診療内容

固形がん（食道がん、胃がん、大腸がん、頭頸部がん、膵臓がん、胆道がん、乳がん、成人軟部肉腫、胚細胞腫瘍、希少がん、原発不明がんなど）の診断と、がん薬物療法を用いた治療を行います。

病院3階の「腫瘍内科」で月～金曜日外来を行っています。又、3階の「外来化学療法室」で抗がん剤治療を行っています。入院治療は、主にC病棟8階の「先端がん治療センター病棟」を用いています。他院で診療をうけている患者さんを対象に「セカンドオピニオン外来」を行っています。複数の診療科、医療スタッフと治療方針について検討する「カンサーボード」を1か月に2回程度行っています。看護師、薬剤師、社会福祉士（ソーシャルワーカー）、緩和ケアチームとも定期的に患者さんの治療について情報共有し、「チーム医療」を推進することで、よりよいがん治療を提供できるように心がけています。

## 特徴

臓器横断的に使用されることの多い「分子標的薬」などを用い、「がん薬物療法専門医」の知識と経験を生かして、がん治療における「根拠に基づく医療」：EBM (Evidence Based Medicine) を行います。抗がん剤の治療効果を上げることに留意すると同時に、副作用のマネジメントを適正に行うことを目標とします。外科、放射線科、又、各診療科と連携し「集学的治療 (Multidisciplinary approach)」を行います。新しい抗がん剤の開発のため、治験や臨床試験にも積極的に取り組みます。がんゲノム医療による精密医療 (Precision Medicine) の実現にむけて、臨床と研究に力をいれています。一方で、患者さんの治療の自己決定権 (Shared Decision Making) を尊重し、がん治療中の生活の質：QOL (Quality Of Life) の維持、向上を目指します。



診察の様子



外来化学療法室での説明